

平成28年12月1日

会員各位

協会だよりー288(12月号)

JCRA (Japan Catalyst Recovering Association)

触媒資源化協会

トピックス：

● 第231回月例会（講演会&新年会）

日時：平成29年2月9日（木）講演会 15時～17時半頃、新年会 17時半～19時半頃

会場：如水会館（千代田区一ツ橋2-1-1）

講演：① 野村興産㈱代表取締役社長 藤原 悌様

② アドバンストマテリアルジャパン㈱代表取締役社長 中村繁夫様



晩秋の薬師池公園（町田市立）(by morimoto)

- 一. 協会よりのお知らせ
- 【実施済事項】
- 【予定事項】
- 二. 協会担当者の交代
- 三. 事務局より（十二年度の予定）
- 四. 第三四回 JSCRA 会（狭山 GC にて）
優勝者：養輪裕樹氏（小島化学薬品㈱）
- 五. 【雑学】伊勢原市大山で猪鍋を堪能

1. 協会よりのお知らせ

【実施済事項】

① **協会だよりー287 (11月号)** をメール&郵便で送信 (10/28)

② 第34回 JSCRA 会（協会主催ゴルフ大会）

日時：11月4日（金）9時00分スタート

コース：狭山ゴルフ倶楽部（埼玉県入間市市下谷ヶ貫 492）

組数：4組（15名参加）

③ 第四回運営委員会

日時：11月17日（木）16時00分～17時00分

場所：堺化学工業㈱東京支店会議室

出席：運営委員、第230回月例幹事会社（中外鉱業㈱）第231回月例幹事会社

議 題：230回月例の反省と今後の一泊研修について
231回月例の準備、その他

④ 第231回月例会幹事会

日 時：11月25日(金) 10時30分～11時30分

場 所：触媒資源化協会事務局(ニュー新橋ビル内)

出 席：担当運営委員(日揮触媒化成株)

第231回月例会幹事会社(双日株、株光正)

議 題：231回月例の準備、その他

[予定事項]

① 経産省素材産業課(前・化学課)訪問予定

日 時：12月中旬頃

目 的：新年会来賓出席依頼

訪問者：会長、専務理事

② 第231回月例会(講演会・新年会)のご案内

12月16日(金)頃に発送予定

※講演者の演題が確定いたしましたら、ご案内いたします。

2. 協会担当者の交代

● 株式会社光正殿(12/1)

(前) 糸賀剛一殿 ⇒ (新) 斎藤隆明殿へ

11/25に連絡がありました。



3. 事務局より(12月度の予定) 出勤予定：9日間、赤・個人予定あり。

日	月	火	水	木	金	土
11/27	11/28	11/29	11/30	1	2	3
×	×	○	×	○	×(W)	×
4	5	6	7	8	9	10
×	○	×(G)	×	×	○	×(S)
11	12	13	14	15	16	17
×	×	○	×(C)	○	×(G)	×
18	19	20	21	22	23	24
×	○	×	×(S)	○	天皇誕生日	×
25	26	27	28	29	30	31
×	×	○	○	×	×(G)	×
1/1	1/2	1/3	1/4	1/5	1/6	1/7
×	元旦	×	×	×	○	×

4. 第34回 JSCRA 会 (狭山 GC にて)

11月4日(金)無風快晴のなか、15名参加のもと、2016年度日本オープンゴルフが開催され松山英樹プロが優勝した狭山 GC にて第34回 JSCRA 会が行われました。

優勝は蓑輪裕樹さん(小島化学薬品株)となり、蓑輪さんと宮崎さんのお二人は次回35回大会の幹事となりました。第35回大会は2017年3月に予定しています。



- スタート前、参加の皆さん
- 優勝の蓑輪裕樹さん(小島化学薬品株)
(和氣会長より優勝賞授与される)
- 戦い終わって和やかな皆さん



5. 【雑学】伊勢原市大山で猪鍋を堪能

町田市の男の料理教室「cookmasters」に参加して今年で14年になる。この教室では年に1~2回、林間（自然？）の散策を兼ね、昼食にその地元の料理を堪能する企画を立てる。今回は大山の下社を参拝して、その後、猪鍋をいただくという趣向である。

町田からは小田急で伊勢原に下車、北口より神奈川中央交通の大山ケーブル駅行きバスに乗車する。久しぶりの夏日となった10月26日（水）は週日と言うのにバスは超満員で終点まで30分身動きも難しい。バス終点より大山ケーブル駅まで、両サイド土産物屋の並ぶ、こま参道の石段を、息を切らして登る（自分の体重を持ち上げるのが大変！）ことになる。こま参道の三分の二ほど登ったところに、本日の猪鍋をいただく「小川家」がある。参拝後のビールが楽しみだ。大山に登ったのは何年前だったろうか？確か息子たちが小学生の時であったから30年以上前ではなかったか？などと考えながらやっとケーブルの駅に到着する。大山ケーブルの車両は、昨年10月に天面をガラス張りにした新型車両（定員77名）を投入したので、車内よりの見晴らしが非常に良く車体も光り輝いている。阿夫利神社（下社）まで往復乗車代金は1,100円であった。



伊勢原駅北口4番乗場より乗車



大山ケーブル駅



新型ケーブル車両 2016.10.26



ケーブルは一度「大山寺駅」で停車、下りと交差し、ほどなく「阿夫利神社駅」へ到着する。ここは海拔700mとか、駅の回廊からは伊勢原平野と相模湾が遠望される。参道を暫く行くと阿夫利神社の鳥居が現れる。ここでも高齢の女性グループが何と多いことか。



2016.10.26



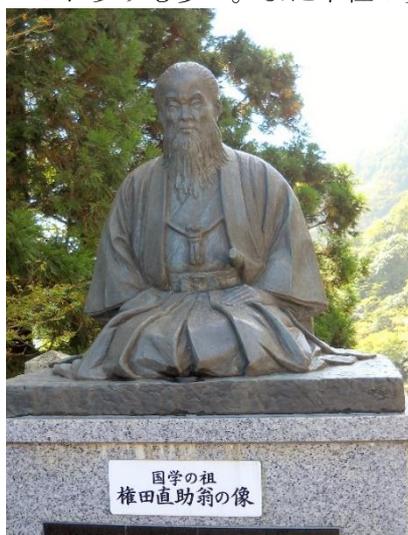
2016.10.26



阿夫利神社の境内より再度、わずかな紅葉を通して相模湾を遠望する。



大山阿夫利神社は第10代崇神天皇の頃(紀元前97年頃)の創建と伝えられ、山頂(1252m)に本社、標高700mに下社がある。主祭神は「大山祇大神(おおやまつみのおおかみ)」「大雷神(おおいかずちのかみ)」「高おかみ神(たかおかみかみ)」となっている。大山はまたの名を「あふり(雨降り)山」といい、水の神様であることから新年には消防関係の団体のお参りも多い。また下社の境内には国学の祖「権田直助」の銅像が鎮座している。



権田直助とは？生1809年(文化6年)没1887年(明治20年)の人で、幕末から明治前期の国学者・神道家・医者。武蔵国入間郡毛呂本郷(現・埼玉県入間郡毛呂山町)出身。幼名を玄常、号は名越廼舎(なごしのや)。平田篤胤に学び尊王攘夷運動に関わる。維新後は大学校の設立等に尽力し、晩年は神社再興の先駆者として大山阿夫利神社及び三嶋大社の長に任ぜられた(ウィキペディアより)。

国学の祖となっているのは平田篤胤の門に儒学を学んだことによるものと、明治6(1873)年65歳の時、大山阿夫利神社側より祠官の要請を受け赴任したことが境内に銅像がある謂れであろうか。

後日談：伊勢原市の有名人は太田道灌と権田直助とか。

そろそろ 11 時半も過ぎ、ケーブルで下山し、本日の目的である猪鍋が待っている小川家へと向かう。やっと上った石段も下りの時はあっというまに下りてしまう。小川家は昨年 6 月、同じ仲間で豆腐料理を堪能した料理屋である。今度の猪鍋は生まれて初めていただくので、興味半分、恐れ半分である。まずはビールで乾杯して、お通しの胡麻豆腐をいただく。喉が渴いているので、ビールが進む。次は鍋に火をつけて、猪鍋の準備に入る。



左の鍋で三人前とか、みそ仕立てのスープで野菜がたっぷりの上に猪肉がのっている。肉の色が変わったら、肉をひっくり返して更に火を通し、多少、具を混ぜ混ぜしていただくことになる。

具をいただいた後は、残りのスープにご飯を入れて煮込み、おじやをいただく。この味が又抜群で、昼ビールと共に十分に堪能したひと時であった。幹事さんと猪さん、本当に有難う。



【文責：専務理事】